

企画委員会より

内外 BM 市場動向

企画委員長 石田 知久
(株式会社 メイト)

企画委員会では、国内および海外でのボンドマグネット生産・市場動向について、会員投票会社から提出された国内生産・海外生産実績数値と毎年12月開催される世界ボンド磁石統計討論会での内容をもとに重量および金額の業界推定値を作成しております。

これらはフレキシブルボンド磁石、リジッドボンド磁石、希土類ボンド磁石の分野別に映像・音響、回転、OA、家電、自動車、吸着・健康・雑貨、その他という用途別に分類されております。

《国内ボンド磁石需要動向》

2007年のボンド磁石国内生産は重量で12,300トン（前年比101%）、金額で222億円（前年比102%）と推定しております。ボンド磁石の海外生産金額は355億円（前年比100%）と推定しております。

《フレキシブルフェライトボンド磁石》

2007年は生産重量3,970トン（前年比99%）、金額30億円（前年比96%）と推定しております。

映像・音響、自動車分野についてはほぼ横ばいと予測。またOA、家電については重量・金額ともに増加傾向

と予測しているものの、回転、吸着・健康・雑貨分野においては減少傾向にあります。

《リジッドフェライトボンド磁石》

2007年は生産重量7,860トン（前年比103%）、金額116億円（前年比103%）と推定しております。

映像・音響分野では減少傾向が継続しますが、その他分野では横ばい、または若干の増加傾向と予測しております。

《希土類ボンド磁石》

2007年は生産重量470トン（前年比104%）、金額75億円（前年比104%）と推定しております。

家電、自動車分野への応用は増加傾向にあり、回転、OA分野においても比較的順調な増加傾向にあると予測しております。

単位：億円

	国内		海外		合計	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
フレキシブルフェライトボンド磁石	30	96	15	54	46	75
リジッドフェライトボンド磁石	116	103	80	87	193	97
希土類ボンド磁石	75	104	260	132	332	125
合計	222	102	355	112	571	108

企画委員会より

2007年・日本ボンド磁性材料業界推定

企画委員長 石田知久
(株式会社 メイト)

日本ボンド磁性材料協会におけるボンド磁石業界推定値は、重量で12,300トン（前年比101%）、金額で222億円（前年比102%）を見込んでおります。分類別ではフレキシブルフェライトボンド磁石が微減、リジッドフェライトボンド磁石と希土類ボンド磁石が増加を予測しております。

1 フレキシブルフェライトボンド磁石

2007年のフレキシブルフェライトボンド磁石は、例年の減少傾向に続き本年も減少傾向が続くと予測しております。

OA、家電分野ではリジッドへの以降も一段落し、若干の増加を予測。映像・音響分野、自動車分野では昨年に対して横ばいと予測したものの、回転、吸着・健康・雑貨分野では減少傾向にあると予測しました。

全体では重量が前年比99%、金額では前年比96%と推定しております。

2 リジッドフェライトボンド磁石

2007年のリジッドフェライトボンド磁石は、映像・音響分野を除く全分野において横ばいもしくは増加傾向と予測しております。

OA分野では昨年マグロールの小径化から重量が減少しましたが、本年は重量・金額ともに増加を予測。回転分野においても堅調と予測しております。

全体では重量・金額ともに前年比103%と推定しております。

3 希土類ボンド磁石

2007年の希土類ボンド磁石は、家電、自動車分野を筆頭に各分野で増加または横ばいと予測しております。

昨年はモータ・センサーの小型化から映像・音響をのぞく全ての分野で金額は前年を上回ったものの、重量では前年を下回りました。しかし本年においては小型化がある程度落ち着くと考え、全体では重量・金額ともに前年比104%と推定しております。

	国内生産推定値			
	金額	前年比	重量	前年比
	(億円)	(%)	(トン)	(%)
フレキシブルフェライトボンド磁石	30	96	3,970	99
リジッドフェライトボンド磁石	116	103	7,860	103
希土類ボンド磁石	75	104	470	104
合計	222	102	12,300	101